

ボーリング柱状図

調査名 忠生33号線(山崎2)地質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 180718-03

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Boring No. 3		調査位置	東京都町田市山崎町地内			北緯	35° 34' 29.5"	
発注機関	町田市			調査期間	平成30年7月24日~30年7月27日			東経	139° 25' 43.4"
調査業者名	[Redacted]		主任技師	[Redacted]		コア鑑定者	[Redacted]		
孔口標高	+74.83m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試錐機 東邦 D0-D エンジン ヤンマー TF90M
総掘進長	10.35m	度		向				ハンマー落下用具	半自動落下装置
								ポンプ	東邦 BG-3CL

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位	標準貫入試験				N値	原位置試験	試料採取		掘進
										10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深度	試験名			深度	採取方法	
m	m	m	m	分	調	度	度	事	m	10	20	30	cm	m	m	号	日	
1				盛土・粘性土	黄褐~暗褐	非常に軟らかい	中位	■細礫が混入する灰褐色のシルト及び褐色のロームからなる盛土 0~1m間は粗礫、泥岩屑及び互層が混入する 1~3m間は全体に2~10mm程度の礫が混入するが、3m以深は礫の混入量は少なくなる 4m付近、粘土質シルトを挟む	7/24 4.60	1	2	2	5	5.0				
2										1	2	1	4	4.0				
3										15	5	30						
4	70.63	4.20	4.20							1	1	2	1.9					
5	70.03	0.60	4.80	シルト	黒褐	-		■やや腐植臭のあるシルト 粘性中位 無水掘りを行い、4.60mに水位を測定した。		1	1	2	1.9					
6	68.83	1.20	6.00	砂混りシルト	暗灰~黄灰	非常に硬い		■全体に砂が混入する均質なシルト 粘性中位		3	5	10	18	18.0				
7										17	33	50	75.0					
8				砂質固シルト	暗灰	固		■全体に砂分が混入し、固結状をなすシルト SPTではコア試料が採取される コア試料は指で押すつづすと土砂状に砕ける 所々、軽石が少量混入する		20	30	50	83.3					
9										18	32	50	83.3					
10	64.48	4.35	10.35							21	29	50	78.9					
										19	31	50	75.0					
										19	31	20						